



留学だより NO.8



こんにちは。AFS66 期生でポルトガルに留学中の大倉です。
17日に1学期が終わり、冬休み(クリスマス休暇?)に入りました。
今回の留学だよりでは、1学期についてとクリスマスについて書きます。

<1 学期について>

1学期の最後の日には特に終業式のようなものもなく、普段通り授業をして終わりました。
また、この日にクッキーコンテストが行われていました。各クラスでクッキーを持ってきて1つ0.1€(12円ぐらい)で販売されていました。私のクラスは、シナモンとレモンとアーモンドのクッキーを作って持っていきました。前の週末にクラスメートの家に5人ほど集まって作りました。

1学期は大変なことがたくさんありましたが、その分成長できたと思います。
特に言語面は成長できたと思います。出発前1年間ポルトガル語を勉強していたのですが実際にポルトガルに来てみるといくつかの単語が聞ける程度で、理解できませんでした。でも、3カ月半が経ってゆっくりなら聞き取れるようになったり、子ども用の本を読めるようになったり、会話ができるようになったりしました。
また、自分のことは1人でやらなければいけない環境におかれたことで、今までいろいろな人に助けられてきたということを実感しました。

<クリスマス>



たくさんの食べ物がありました。
この左の写真はクリスマスイブの夕食です。
ポルトガルではクリスマスにバカリャウと緑の葉野菜を食べるそうです。
シンプルですが美味しかったです。



お菓子もたくさんありました。
いくつかのお菓子を紹介します。



Arroz doce

お米を牛乳、砂糖で煮たおやつ



Bolo de bolacha de Maria

クッキーと砂糖やバターで作ったペーストを重ねたケーキ



フレンチトーストを油で揚げて
さらにシロップで漬けたもので
す。

次回の留学だよりではこれから行く旅行のことについて書きます。

27. Dez. 2019

11 期生 大倉